

孤立死を防ぐ 高齢者みまもりステーション

「高齢の方の日常生活の不安、心配の解消の手助けに」

高齢者みまもりステーション（南千住・荒川・町屋・尾久・日暮里の5ヶ所）は、昨年7月から、荒川区の委託を受け、東京都の事業として始められました。対象者は、荒川区内の65歳以上の方で

①ひとり暮らしの方

②日中独居（日中1日4時間以上、ひとりになられる方）

③高齢者のみの世帯（双方とも65歳以上）

受けられるサービスは、

- ・緊急通報システム
- ・配食見守りサービス
- ・新聞販売店による見守り
- ・緊急医療情報キットの支給
- ・民生委員によるひと声運動（年二回）
- ・サービスの選択はできます。



「どうしましたか」

緊急通報システムは、急病時や緊急時にボタンを押すと区役所から委託を受けた上陽テクノ（株）警備部の通信センターに通報され、状況確認を致します。通報連絡を受けた警備員が駆けつけるとともに、状況に応じ119番通報要請や親族等緊

急連絡先に連絡など必要な対応を行ってくれます。常に身に付ける事のできるペンダント型のも貸与されます。

また、生活反応（安否確認）センサーを設置し24時間以上人の動きを感じできなかった場合、自動的に受信センターに通報されます。その上、希望により定期的に安否確認の電話のお願いもできます。孤立死を防ぐことができます。

民間の企業に安否確認システムを依頼すると、月額一万数千円かかります。

高齢者見守りステーションの緊急通報システムの利用料金は、

- ・身体状況（疾病等）要件該当ありで、住民税課税の方 200円／非課税の方 0円
- ・身体状況（疾病等）要件該当なしで、住民税課税の方 500円／非課税の方 200円



一人暮らしや高齢者のみの世帯は増え続けています。介護認定を受けておられる方は、ケアマネージャーやデイサービスで情報を手にすることができませんが、介護認定を受けておられない方は、なかなか情報を入手するのが困難な状態です。

高齢者みまもりステーションは、高齢者の相談相手として、社会福祉士等の資格を持った相談員が電話相談や、訪問して相談に応じ、その方に応じた最良の情報提供し支援致します。

新聞や郵便物がたまっていくけど・連日同じ洗濯物が干され、



雨戸が閉め切つてあるけど・散歩やラジオ体操、サークル活動でよく見かける人が急に見かけなくなった・かつての隣組のような近所付き合いも薄くなり、心配だけど踏み込めない。こんな異変に気付いたら高齢者みまもりステーションにご連絡下さい。

まずは、緊急通報システムを取り付けて安心を手に入れませんか。

◇南千住高齢者みまもりステーション TEL (3805) 5705

◇荒川高齢者みまもりステーション TEL (5855) 0324

月曜～金曜 午前9時～午後5時